



「災害や事件、事故後のこころのケア～PFA

(サイコロジカル・ファーストエイド)を学ぶ～」

災害や事件・事故は、その出来事自体が外傷体験となり得るだけでなく、大切な人との死別や喪失体験、生活環境が大きく変わるといった精神的ストレスをもたらし、しばしばメンタルヘルスに影響を及ぼすと言われています。そのため、被災者・被害者支援においては、職種を問わず、誰もがその人の心理を理解し、自己決定の力を奪わない姿勢が求められます。

本研修では、災害時等のメンタルヘルスに関する問題に対応できるよう、PFA（サイコロジカル・ファーストエイド）について学ぶことを目的に、講義とグループ演習を行います。PFAは災害だけではなく、事件、事故後のこころのケアに対しても実施できる、汎用性の高いスキルです。南海トラフ地震をはじめとする災害に対する備えの必要性も言われています。この機会に災害に備えるとともに、日々の臨床にも活用して下さい。

日 時 令和5年7月13日（木）午前10時から午後4時まで

場 所 大阪急性期・総合医療センター 3階講堂

内 容 講義及びグループ演習「災害や事件、事故後のこころのケア～PFA
(サイコロジカル・ファーストエイド)を学ぶ～」

講師 大澤 智子氏(兵庫県こころのケアセンター 上席研究主幹・日本トラウマティックストレス学会理事)

対 象 (1) 大阪府保健所職員、災害時等の対応に従事する大阪府職員
(2) 市町村の保健・福祉、災害時等の対応に従事する職員(大阪市・堺市除く)
(3) 大阪府内の精神科病院、精神科病床を有する病院、精神科診療所等の職員
(4) 大阪府内(大阪市・堺市除く)の相談支援事業所、障がい福祉サービス事業所、障がい者支援施設、地域活動支援センター等の職員

[定員48名]

